

高画質ドライブレコーダー **XR-DRM6**

製品マニュアル



M6 X-RUN

駐車 モード	衝撃&動体 センサー	LED信号 対策済み	ノイズ 対策済み	Full HD 1080P	超広角 136°	夜も明るい F1.8	高画質 300万画素
-----------	---------------	---------------	-------------	------------------	-------------	---------------	---------------

目次

1. 安全上の注意	・ ・ ・	P1~P5
2. 製品特徴	・ ・ ・	P6
3. 同梱物	・ ・ ・	P7
4. 各部名称と機能	・ ・ ・	P8
5. 取付方法 / 取付手順	・ ・ ・	P9~P11
6. 電源の接続方法	・ ・ ・	P12~P13
7. microSD カードの挿入方法	・ ・ ・	P13
8. 録画ファイルの取り出し方	・ ・ ・	P14~P15
9. 録画ファイルの保存場所	・ ・ ・	P16
10. 録画ファイルのファイル名	・ ・ ・	P17
11. メニュー説明	・ ・ ・	P18~P19
12. 基本操作	・ ・ ・	P20
13. 日時の設定	・ ・ ・	P21
14. メニュー画面説明	・ ・ ・	P22~P28
15. 製品仕様	・ ・ ・	P29

安全上のご注意（必ずお守りください。）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為必ずお守りいただくことを記載しております。



危険

死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。



警告

死亡または重傷を負う恐れがある内容です。



注意

軽傷を負う事や物的損害が発生する恐れがある内容です。



気をつけていただきたい
「注意喚起」の内容です。



してはいけない
「禁止」の内容です。



必ず実行していただく
「強制」の内容です。

免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。

安全上の注意（内蔵電池）

危険



本製品は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。

- 分解・改造をしない。
- 加熱したり、火の中に入れたりしない。
- 直射の強い場所や炎天下の車内など異常な高温状態になる場所に放置しない。

内蔵された電池が発熱・破裂・発火・液漏れをし、火災や怪我の原因となります。



内蔵電池を廃棄する際は次のことを守ってください。

- 加熱したり、分解・改造をしたり、火や水の中に入れない。
- 火のそばや炎天下に放置しない。
- コネクター部分に絶縁テープをはる。
- 絶対に「一般ごみ」としては捨てない。

各地方自治体の条例に従って廃棄をしてください。

発熱・破裂・発火・液漏れをし、火災や怪我の原因となります。

警告



内蔵電池を廃棄する際は次のことを守ってください。

- 幼児の手の届く場所に置かない。
- 液漏れが発生し、それが目や口などに入った際はすぐに綺麗な水で洗浄し、医師の治療を受けてください。

怪我や事故の原因となります。

安全上の注意（取り付け / 配線）



警告



- 本製品は DC12V/24V マイナスアース車専用です。
火災や故障の原因となりますので DC12V/24V の
マイナスアース車以外では使用しないでください。
- エアバッグの近くや動作を妨げる場所には、
取り付け、配線をしないでください。
誤動作やエアバッグの正常な動作の妨げになります。
- 視界や運転操作を妨げる場所に取り付けしないでください。
交通事故などの原因となります。
- 保安基準の取付許容範囲外に取り付けしないでください。
視界不良や交通事故の原因となります。



- 説明書に従って取り付けや配線をしてください。
火災や故障の原因となります。
- 必ず付属の部品を使用してください。機器の損傷や
固定が外れて事故や故障、火災の原因となります。
- 付属の小物は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
- 必ず、付属のシガーソケット電源アダプターを使用し
てください。付属品以外のものを使用すると火災や
感電の原因となります。
- シガーソケット電源アダプターを差し込む際は確実に
差し込んでください。また、アダプターを抜く際は
必ず、ソケット部分を持って抜いてください。ケーブル
断線により火災、感電の原因となります。
- 長時間使用しない時はシガーソケット電源アダプターを
必ず抜いてください。火災や車種によってはバッテリー
上がりの原因となります。
- シガーソケット電源アダプターはほこりが溜まらないよう
定期的に清掃してください。
- 濡れた手で本体やシガーソケット電源アダプターに
触れないでください。感電の原因となります。

安全上の注意（取り付け / 配線）

注意



- 湿気、ほこり、油煙、水がかかる可能性のある場所には取り付けないでください。発火、故障の原因となります。
- 密閉された場所に取り付けないでください。
本体に熱がこもり、火災や故障の原因となります。



- コード類を傷つけたり、圧力をかけたり、折り曲げたり、熱源に近づけたり、加工などをしないでください。
断線やショートなどにより、火災や感電、機器の故障の原因となります。

使用上の注意

警告



- 分解、改造をしないでください。
交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- 適切な音量でご使用ください。
車外の音が聞こえない音量で使用すると交通事故の原因となります。
- 走行中に操作をしたり、画面表示に注視しないでください。
操作をする際は安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で行ってください。交通事故の原因となります。
- 機器に水や異物を付着させないでください。
機器の故障や火災、発火、感電の原因となります。
- 故障状態のまま使用しないでください。画面が映らない、水がかかった、煙が出る、異音がする等の異常な状態で使用を続けると交通事故や火災、感電の原因となります。

使用上の注意（続き）



警告



- 雷が鳴り出したら、コード類に触れない。
落雷による感電の原因となります。



注意



- 本製品を車載用以外で使用しない。
発煙や発火、感電や怪我の原因となります。



- 走行前に本製品の動作、取り付け状態を確認する。
脱落や落下等により怪我や交通事故の原因となることがあります。

異常時について



警告



- 異音、発熱など本体に異常が発生した際は、直ちに使用を中止し、販売店もしくは弊社サポート窓口にご相談ください。
そのまま使用を続けると事故や火災、感電の原因となります。



注意



- 本体に強い衝撃を与えた場合などは使用を中止する。
内部部品や電池に損傷が発生している可能性があります。
火災、感電の原因となりますので、修理をご依頼ください。

製品特徴

●海外で人気・信頼のブランド

X-RUN は台湾の INSTANT TECHNOLOGY 社が開発したドライブレコーダー。一般車からタクシーまで幅広く使われています。

※海外では Abee ブランドで販売

●夜でもキレイに撮れる

明るい広角ガラスレンズと高性能 IC により、夜でもキレイに録画。高解像度で細部までしっかり記録します。

●駐車モード搭載

駐車中に異変があった場合、緊急録画をする駐車モードを搭載。衝撃センサー録画 / 動体センサー録画 / オフが選べます。

●LED 信号機に対応

LED 信号対策として、27.5fps/57fps で撮影したデータを 30fps/60fps に補正しております。

※LED 信号対策はしておりますが、信号機が映り込む際、点滅する場合がございます。（消えることはありません。）
こちらは仕様です。

●安心の各種機能

電波ノイズ対策済み：地デジなどに影響しにくい。

常時録画：エンジン ON で録画スタート。

G センサー：衝撃感知で上書き禁止フォルダへ移動

同梱物

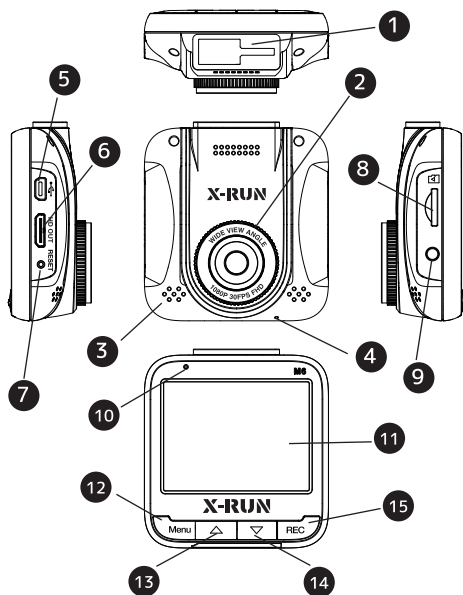


- 1 ドライブレコーダー本体（X-RUN M6）
- 2 固定用ブラケット
- 3 シガーソケット電源アダプタ
- 4 保証書兼マニュアル（本紙）
- 5 microSD カード（MLC 8GB）

※付属の microSD カードは動作確認用のものです。

長時間の録画を行いたい場合は別途 microSD カードをご購入ください。
ご購入の際にはドライブレコーダー用 microSD、
もしくは耐久性の高いもの（MLC Type）のご使用を推奨します。

各部名称と機能



- | | | |
|----------------|-----------------|-----------|
| ① ブラケット接続部 | ⑥ miniHDMI コネクタ | ⑪ 液晶画面 |
| ② レンズ | ⑦ リセットボタン | ⑫ メニューボタン |
| ③ スピーカー | ⑧ microSD スロット | ⑬ △/ 上ボタン |
| ④ マイク | ⑨ 電源ボタン | ⑭ ▽/ 下ボタン |
| ⑤ miniUSB コネクタ | ⑩ LED ランプ | ⑮ 録画ボタン |

取り付け方法

取り付け前の注意事項

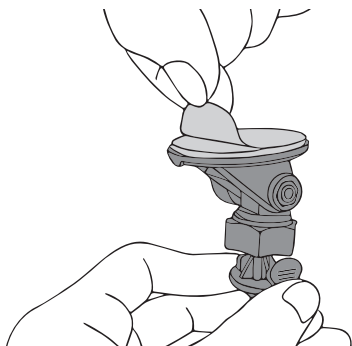
- ・フロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けてください。
- ・必ず視界を妨げない位置に取り付けてください。
- ・ルームミラーの操作に干渉しないよう取り付け位置には注意してください
- ・車検証等のステッカーに重ならないよう取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・本製品の録画範囲内に録画を妨害するような物を配置をしないでください。
- ・その他、車両取扱説明書に記載されている禁止エリアには取り付けないでください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。

取り付け手順

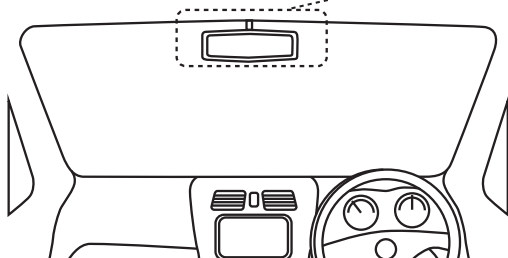
1. 取り付ける車両が停止しており、水平な場所に駐車されていることを確認してください。
2. 次の手順に従って、車内にしっかりと固定してください。

取り付け手順（続き）

3. 固定用ブラケットの両面テープから保護フィルムを剥がし、フロントガラス上部に貼り付けてください。貼り直しは粘着力が落ち、非常に危険ですので、位置をしっかりと確認し、慎重に貼り付けを行ってください。



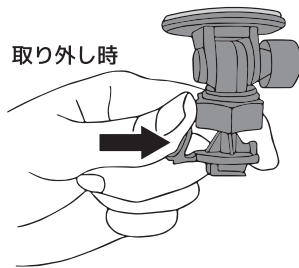
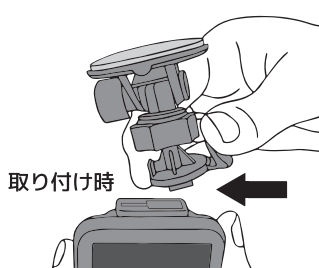
ドライブレコーダー推奨設置位置



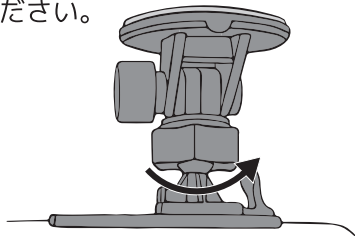
取り付け手順（続き）

4. 固定用ブラケットと本体のジョイントレールを合わせ、矢印の方向にスライドさせて本体をブラケットに装着してください。ブラケット側のストッパーがカチッとなるまでスライドさせて、しっかりと固定出来ていることを確認してください。

※本体を取り外す際はストッパー部分をつまみ、本体を横にスライドさせて取り外してください。

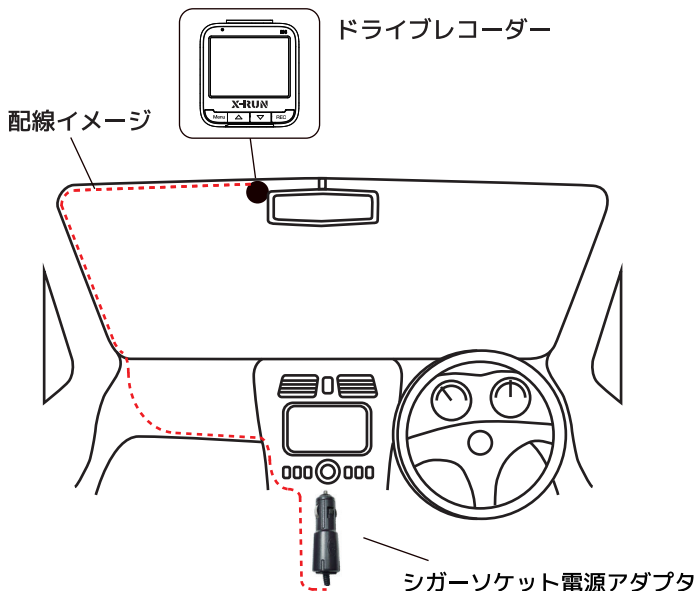


5. 固定用ブラケットと本体の固定が完了したら、固定用ブラケットのナットを緩め、本体を撮影したい角度に調整した後、ナットを締めてしっかりと固定してください。



電源の接続方法

1. 付属のシガーソケット電源アダプタを車のシガーソケットに接続してください。コード部分に関しては運転の妨げにならないようにフロントガラスの端等に配線してください。配線後はコードが車のエアバッグやその他安全機能の動作を妨げない事を確認してください。



4. 取付が完了したら、正常な録画（録画角度やバランス等）ができるよう、映像を確認しながら本体の角度を調整してください。
5. 使用をしない場合や長期間車から離れる際は本体を取付ブラケットから取り外してください。

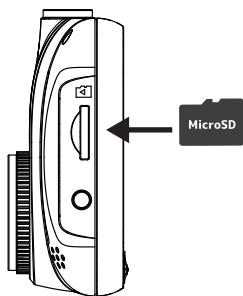
microSD カードの挿入方法

本体の設置が完了したら、付属の microSD カードを microSD スロットに挿入してください。

別途購入をした microSD カードを使用する際、「カードエラー要フォーマット」というエラーが出る可能性があります。

エラーが出た場合は、本体の「フォーマット」機能でカードをフォーマットしてください。

※P28 参照



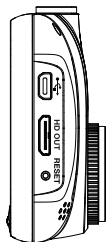
録画ファイルの取り出し方

本製品や取り出した microD カードをパソコンの USB ポートに接続することで、録画したデータアクセスする事ができます。

手順 1 パソコンに接続して取り出す

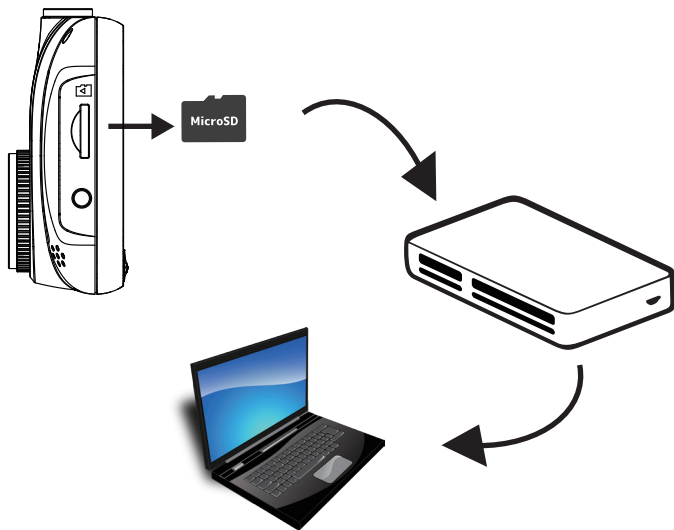
1. 本体に microSD カードが装着されていることを確認してください。
2. 本体の miniUSB ポートに市販の miniUSB ケーブルの一端を接続してください。
(本製品にはケーブルは付属しておりません。)
3. USB ケーブルのもう一端をパソコンの USB ポートに接続してください。
4. 本製品の電源ボタンを押して起動するとパソコン上でリムーバブルディスクとして認識します。

※USB ポートが搭載されている Windows/Mac OS PC に対応



手順 2 microSD カードから取り出す

1. 本体の電源がオフになっていることを確認してください。
2. 本体から microSD カードを取り出してください。
3. 市販のカードリーダーをパソコンに接続し、
カードリーダーに本体から取り出した microSD
カードを挿入してください。
(本製品にはカードリーダーは付属していません。)
4. パソコン上で microSD カード内のデータにアクセス
する事ができます。



録画ファイルの保存場所

前ページの手順 1 または手順 2 の方法でパソコンに接続をしてください。

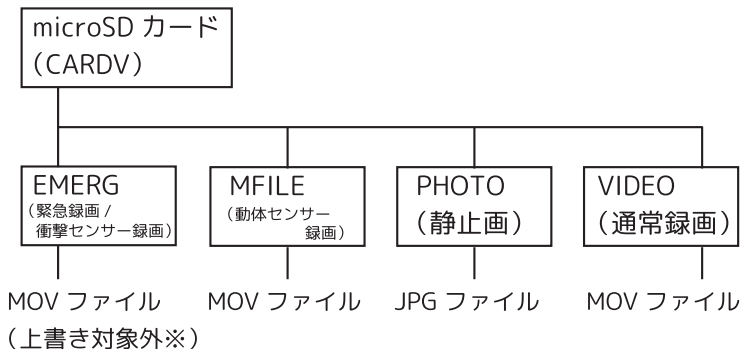
録画ファイルのフォルダ構造

録画ファイルは microSD カード内で

「緊急録画 / 衝撃センサー録画」「動体センサー録画」「通常録画」「静止画」の最大 4 つ（※）のフォルダに分けられ、保存されています。

※例えば「静止画」を撮影したことがない場合は「PHOTO」フォルダは作成されません。

フォルダ構造図



※EMERG フォルダに保存されたファイルも、ファイル数が 10 個を超えると一番古いファイルから上書きされていきます。

録画ファイルのファイル名

本製品で作成される動画 / 静止画ファイルは以下のような法則でファイル名が自動設定されます。

※動画、静止画共に同じ法則です。

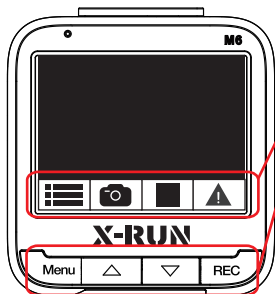
〈例〉

2016_0901_100130_001.mov(または jpg)

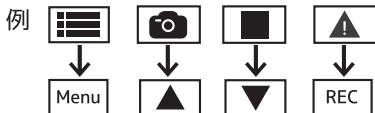


メニュー設定

アイコン / ボタンの説明



液晶画面上のアイコンと本体下部のボタンは上下で繋がっております。
例えば液晶画面に表示されている  のアイコンの機能を使用したい場合はその下にある **Menu** ボタンを押してください。



アイコンの説明



…メニュー画面に入る



…録画開始



…スナップショットを撮る



…一つ前のページに戻る



…録画停止



…上に移動



…録画→緊急録画に変更



…下に移動



…録画ファイルの再生



…決定

画面アイコンの説明

録画停止時



バッテリー / 充電状況



— バッテリー駆動中

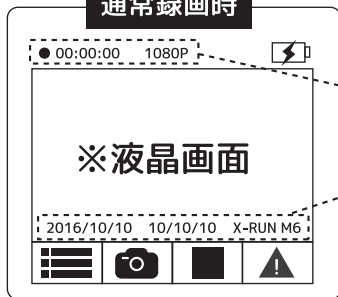


— バッテリー充電中
シガーソケット動作



— 満充電
シガーソケット動作

通常録画時

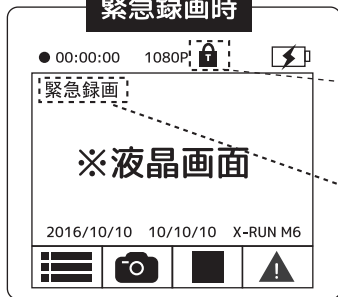


年 / 月 / 日、時間（時 / 分 / 秒）

録画時間、録画解像度

年 / 月 / 日、時間（時 / 分 / 秒）

緊急録画時



緊急録画通知アイコン（鍵）

緊急録画通知アイコン（文字）

基本操作

電源のオン / オフ

- 正しく設置 / 接続を行った状態で、車のエンジンをかけると自動的に本製品の電源が入り、通常録画が始まります。※自動録画オンの場合
- 電源が入らない場合は本体左側にある電源ボタンを2秒ほど押してください。
- 電源を手動でオフにする場合は、同じように電源ボタンを2秒ほど押してください。

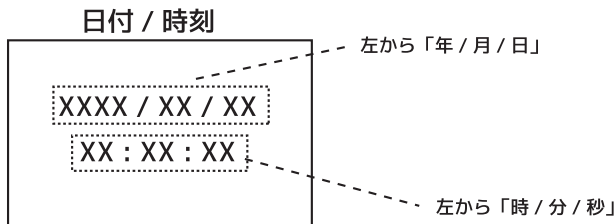
起動後

電源が入ると最初に下図のような画面が表示されます。



日時の設定

- ① 画面が表示されたら、 アイコンの下にある **Menu** ボタンを押して設定メニューを開いてください。
- ② メニュー画面が表示されたら、「システム設定」を選択し  アイコンの下にある **Rec** ボタンを押して決定してください。
- ③ 次に「日付 / 時刻」を選択し、同じように、**Rec** ボタンを押して決定してください。
- ④ 「日付 / 時刻」設定メニューが開いたら   ボタンで数字を変えてください。（下図、参照）
年の設定から始まり、設定が完了したら **Rec** ボタンを押すと次の項目に移動します。最後の秒を設定した後、もう一度 **Rec** ボタンを押すと設定は完了します。



メニュー画面説明（トップページ）

メニューボタンを押すとまず①の「メニュー」画面が表示されます。「メニュー」内には「システム設定」「録画設定」「機能設定」「録画ファイル」の4項目があり、そこから更に詳細な設定メニューに移動することができます。

① メニュー

システム設定
録画設定
機能設定
録画ファイル

➤ システム設定

日付 / 時刻
画面表示
サウンド
言語設定
初期設定にリセット

➤ 録画設定

録画解像度
自動録画
録画ファイル間隔
日時写し込み
WDR

➤ 機能設定

衝撃センサー感度
駐車モード
露出（明るさ）
時間差電源オフ
地域設定（周波数）

➤ 録画ファイル

録画ファイル
削除
フォーマット
ファームウェア情報

メニュー画面説明（システム設定）

「システム設定」に関する説明は以下の通りです。

●日付 / 時刻

日付 / 時刻の設定、変更を行います。
本設定に関しては初回起動時に必ず
設定、確認をしてください。（図①参照）

図① 日付 / 時刻

XXXX / XX / XX
XX : XX : XX

左から「年 / 月 / 日」

左から「時 / 分 / 秒」

●画面表示

録画中の画面表示の設定を行います。
「オフ」「30 秒後にオフ」「3 分後にオフ」
「常にオン」の 4 項目から選択が可能で、
初期設定は「常にオン」となっております。

●サウンド

「操作音量」や「音声録音」の設定を
行います。初期設定は「操作音量」が
「4」、音声録画が「ON」になって
おります。（図②参照）

図② サウンド

操作音量	▲ 4 ▼
音声録音	▲ ON ▼

1,2,3,4,5,OFF から選択

●言語設定

表示言語を 10 か国語から設定する事ができます。ON,OFF から選択
中国語（繁体 / 簡体）、英語、ドイツ語、ポルトガル語、
スペイン語、フランス語、日本語、韓国語、トルコ語、
ロシア語。

●初期設定にリセット

設定を工場出荷状態の初期設定に戻します。

メニュー画面説明（録画設定①）

「録画設定」に関する説明は以下の通りです。

●録画解像度

録画時の解像度を設定できます。
初期設定は「1080P/30fps」になっており、その他には「720P/60fps」「720P/30fps」を選択することができます。

録画設定

録画解像度
自動録画
録画ファイル間隔
日時写し込み
WDR

画質は 1080P/30fps が最も高くなりますが、録画ファイルのサイズは大きくなります。逆に 720P/30fps は画質は低くなりますがファイルサイズが小さくなる為、より多くのファイルをカード内に残すことができます。

720P/60fps はその中間です。

お客様の使用環境や目的に合わせて変更をしてください。

●自動録画

自動録画の設定変更ができます。「オン」と「オフ」の設定があり、初期設定は「オン」になっております。

「オン」のままにしておけば、電源オン時や設定変更をして、通常画面に戻った際に自動的に録画が開始されるのでお勧めです。

※「オフ」にすると録画ボタンを押さない限り
録画されませんのでご注意ください。

メニュー画面説明（録画設定②）

「録画設定」の続きです。

●録画ファイル間隔

録画されるファイルの時間を設定できます。録画時はここで設定したファイル間隔毎にファイルが分割されて保存されます。

初期設定は「3分」となっており、その他に「2分」「5分」を選択できます。

録画設定

録画解像度
自動録画
録画ファイル間隔
日時写し込み
WDR

●日時写し込み

録画されたファイルに録画時間を写すか、写さないかを設定できます。初期設定は「オン」になっており、特に問題がなければ「オン」のままにしておくことをお勧めします。

●WDR

WDR（ワイドダイナミックレンジ）のオン / オフを変更できます。初期設定は「オン」になっており、「オン」のままにしておくことをお勧めします。

※WDR（ワイドダイナミックレンジ）とは暗い画像と明るい画像を処理し、暗い部分を明るく、明るい部分を暗くすることで、適度な明るさの画像を作り出す機能のことです。

メニュー画面説明（機能設定①）

「機能設定」に関する説明は以下の通りです。

●衝撃センサー感度

衝撃センサーの感度は「高感度」「標準感度」「低感度」「オフ」の4つから選択することができます。
※初期設定は「標準感度」です。

機能設定

衝撃センサー感度
駐車モード
露出（明るさ）
時間差電源オフ
地域設定（周波数）

衝撃センサー感度は通常録画から緊急録画に移行する際に機能します。感度を高くすればより軽度の衝撃でも緊急録画に移行しやすくなります。「オフ」にした場合は、ボタンを押さない限り、緊急録画にならなくなります。

●駐車モード

駐車時（エンジン停止状態）に一定条件で録画を行う設定です。「オフ」「衝撃センサー録画」「動体センサー録画」の3つから選択することができます。※初期設定は「オフ」です。
「衝撃センサー録画」を選択すると駐車時に衝撃が検知された際にバッテリー動作で録画を行います。
「動体センサー録画」を選択すると駐車時にカメラの前で動くものを検知し、録画を行います。
※「衝撃センサー録画」も「動体センサー録画」も

バッテリー満充電状態から、最大で40分の動作が可能です。

メニュー画面説明（機能設定②）

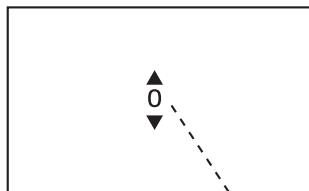
「機能設定」の続きです。

●露出（明るさ）

録画する動画の明るさを調整する項目です。初期設定は「0」になっており、「+2」「+1」「0」「-1」「-2」の5項目から選択可能です。

「+」に設定すると明るく、「-」に設定すると暗くなります。

露出（明るさ）



-2,-1,0,+1,+2 から選択

●時間差電源オフ

電源をオフにするタイミングを変更できます。「オフ」と「エンジン停止後10秒後」の2つが選択可能で、初期設定は「オフ」になっております。「オフ」はエンジン停止後1～2秒で電源がオフになります。「エンジン停止後10秒後」を選択すると、停止後約10秒後に電源がオフになります。

●地域設定（周波数）

「東日本 /50Hz」と「西日本 /60Hz」から選択可能です。初期設定は「東日本 /50Hz」となっております。西日本在住、もしくは西日本に移動する際は設定を変更してください。

※設定が違っていても録画はされますが、画面がチラつく場合があります。

メニュー画面説明（録画ファイル）

「録画ファイル」に関する説明は以下の通りです。

●録画ファイル

録画したファイルを再生 / 確認できます。「ビデオ」と「写真」のフォルダに分かれていますので、見たい方のフォルダを選択してください。

録画ファイル

録画ファイル
削除
フォーマット
ファームウェア情報

●削除

録画したファイルを削除できます。基本的には上記の「録画ファイル」と同じで「ビデオ」と「写真」に分かれており、基本的な操作も一緒です。ただ、削除に関しては削除をする際に選択した「1 ファイルを削除」と

そのフォルダに入っている全てのファイルを削除する「全ファイルを削除」がありますので、ご注意ください。

ファイルの削除
1 ファイルを削除、
全ファイルを削除

全ファイルを
削除したい場合

1 ファイルだけ
削除したい場合

●フォーマット

挿入されている microSD カードのフォーマットができます。フォーマットを行った場合、録画済のファイルは全て削除されますのでご注意ください。

●ファームウェア情報

現在のファームウェアバージョンを確認することができます。

製品仕様

型番	XR-DRM6
画面サイズ	2.4インチカラー液晶
撮像素子	300万画素CMOSセンサー
最大記録解像度	Full HD 1080P (1920 x 1080P)
ファイル形式	H.264 / MOV
フレームレート	Full HD 30fps (27.5fps を補正) 720P 60fps(57fpsを補正) 720P 30fps(27.5fpsを補正)
撮影画角	対角136° (水平111°垂直57°)
レンズF値	F1.8
内蔵バッテリー	470mAh
外形寸法	W 62.0 x H 67.5 x D 27.0mm
重量	約80g
電源電圧	アダプタ : 12V~24V、本体 : DC5V/1A
記録媒体	microSDHC(8~32GB Class10以上推奨)
動作温度	0℃~60℃
保存温度	-20℃~80℃
接続	USB2.0 mini-B
映像出力	Mini HDMI
その他機能	WDR、Gセンサー、露出変更
保証期間	1年間
付属品	①シガーソケット電源アダプタ (ケーブル長 約3.5m) ②固定用ブラケット (テープ式) ③説明書兼保証書 (本紙) ④microSDHCカード (8GB MLC)